

すずかも通信

2017

10月

2017年10月8日 発行

ISSN 2185 632X



やちよかん祭り 2017

11/23(木・祝) 10時～15時

観察舎横の芝生・管理棟 ※雨天中止

出店予定：小原ファーム、ヒロちゃん八百屋、行徳漁協
福田海苔店、阿久津樹脂工業、その他遊び・ゲーム

インターンさんに
聞きました！

保護区の鳥の様子

夏のイベント報告♪

夜の生き物観察会
セミ羽化観察会
キ/コを探そう！

インターンさんに聞きました！

毎年実施しているインターン制度。去年までは1年間に最低25日参加の長期スケジュールでしたが、今年度は5ヶ月間で最低14日参加の短期集中に変更。

今期は4名を採用させて頂きました。

6月にスタートをしてからおのおの日程の半分を過ぎた頃ということで、皆さんにこれまでの感想や今後の意気込みなどを書いて頂き、2号に分けて2名ずつ掲載していきます！

<A・Sさん（日本大学生物資源科学部）>

こんにちは！インターンのSです！

最初に大部屋の掃除をしたのですが、マット掃除がなかなか終わらずプールに水を張るのが遅くなってしまい、カモメたちの「もう！早く水浴びしたい！」の視線が痛かったです・・・笑。また、野鳥ごとに食べるものや量が異なるので覚えることが大変でした。世話をしていると今日はツミが餌をすぐ食べてくれた！オオバンがバナナをすごい食べている？！などと毎日が驚きと感動の連続だなあと感じています。

5ヶ月間という短い間ですが、ペットとは違う、野鳥という自然の生き物の世話や保護、またそれに伴う維持管理やボランティアについてたくさん学ばせてもらっています。



<Y・Tさん（日本獣医生命科学大学獣医学部）>

私は、将来獣医師として野生動物に関わる仕事がしたいと考えています。中でも傷病鳥の救護・野生復帰や環境保護に強く興味があり、今回インターンに応募させていただきました。

野鳥病院では鳥との距離が近く、貴重なことに多様な種類の野鳥と間近で関わるができます。私は幼い頃から鳥が好きで、これまでも野外で野鳥を観察してきましたが、こんなにも近くで野鳥と関わったことはなく、日々新たな学びや発見があります。また歴史ある保護区は、その風景や生き物達すべてが私にとって魅力的で、様々なことを教えてくれます。

短期間ではありますが、人と人、人と野生動物の繋がりを大切に、「人か鳥か」ではなく「人と鳥と」が上手に共存していけるような社会づくりに貢献していきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。



(イラスト：スタッフS)

7・8月 保護区の鳥の様子 ～旅立ちの日々～

川上 正敬

2017年7月から8月の保護区鳥類調査の結果です。この二ヶ月で36種を記録しました。カワウコロニーでは、1000個以上もあったカワウの営巣数が7月に入ると急速に減り中旬にはほぼ終了しました。ここでは、カワウ、アオサギの他にダイサギも繁殖しています。ダイサギの巣は6～7個あったようで、7月初旬には若鳥が14羽ほど見られました。毎年繁殖していたカイツブリですが、今季は巣が2個見られたものの失敗でした。またヒナの姿や声がまったく記録されず繁殖が確認できませんでした。8月に入ると秋を感じさせる鳥たちが現れます。クサシギ、キアシシギ、ソリハシシギなどのシギ類、冬鳥のオオタカ、珍しいヒクイナも記録しました。

水鳥類

カルガモ	ヒクイナ
スズガモ	バン
カイツブリ	オオバン
カワウ	コチドリ
アオサギ	クサシギ
ダイサギ	キアシシギ
チュウサギ	イソシギ
コサギ	ウミネコ
クロツラヘラサギ	

その他小鳥など

キジ	ヒヨドリ
キジバト	オオヨシキリ
カワセミ	セッカ
コゲラ	ムクドリ
オナガ	スズメ
ハシボソガラス	ハクセキレイ
ハシブトガラス	カワラヒワ
シジュウカラ	ドバト
ツバメ	

猛禽類

トビ オオタカ

オシドリ夫婦になれるかな？

行徳新聞(9/15付)記事を抜粋・一部編集

9月3日(日)、観察者前を流れる丸浜川岸で野鳥病院から放鳥した2羽のオシドリが撮影されました。メス(左)は2年前カルガモのヒナ達と育ち同年一緒に放鳥、オスは今年に入所・放鳥されました。メスは放鳥後もカルガモ達と一緒に行動していて、「自分をカルガモと思ってるんじゃない？」とスタッフ間で話題になりましたが、ようやく同種のお相手と出会うことができました。



画像提供：matsumaroomさん

2羽ともまだカルガモと一緒にいるようですが、来春までに仲良くなるでしょうか？

(野長瀬 雅樹)

イベント報告

まっしろしろすけ

セミ羽化観察会 8月12日(土)

7月初めあたりから今年は全国的にセミが少なめとの話があり、オマケに関東地方は台風の影響でかなり涼しく、蟬しぐれには程遠い8月上旬。

ちょっと心配でしたが、例年通りたくさんの参加者（15組 40名ほど）に、生き物の不思議満載のアブラゼミの羽化を見てもらえました。その他、地面を歩いているツクツクボウシの幼虫（初観察！ by スタッフN）や枝に擬態しているナナフシモドキなどを観察。ボランティア含むスタッフ一同で、参加者からの様々な質問にも対応でき、面目躍如でした??

来年もよりパワーアップして、みんなで一緒に楽しみたいな～♪ （ボランティアM）



←背中が割れてから全身が出るまで
小1時間くらい。



頭を上に取り直って 15 分くらいできれいに羽が
伸びます。
飛び立てるようになるまで数時間かかります。



カマキリがセミの幼虫を捕食。
自然の厳しさと命のやり取りが垣間見られた瞬間。
みんな一生懸命生きています。



夜の生き物観察会

8月20日(日)

19日(土)の予定が生憎の天気で順延となり、翌20日に天気の悪化が気になりつつも開催された観察会。

観察舎横のカラスウリが満開で、花の香りを楽しんでから保護区内へ。

ハヤシノウマオイの声に囲まれ進んでいくとツクツクボウシが羽化しており、なかなかトラップまで辿りつけませんでした。

普段夜に出歩けない子供達にとって、夜のお散歩の機会は宝物のようでおおはしゃぎでした。現れた昆虫達を手に乗せて楽しんだ時間はあっという間。名残惜しくも保護区を後にしました。

(中込 哲)

参加者 **39** 名

観察された生き物 **96** 種超え



クワコ(カイコの野生種)成虫



集まる虫たちの様子



観察の様子

この観察会は千葉県環境財団の県民の環境活動助成金を得て開催いたしました。

台風の大雨でキノコが全部ダメになってないかものすごく心配しましたが、フタをあけてみたら直径15センチ、高さも15センチ近い大物のテングタケの仲間があったり、やっぱり直径15センチもあるカヤタケの仲間が出たりと、豊富なキノコを観察することができました。

<午前：観察会>



子どもたちが次々見つけて・・・

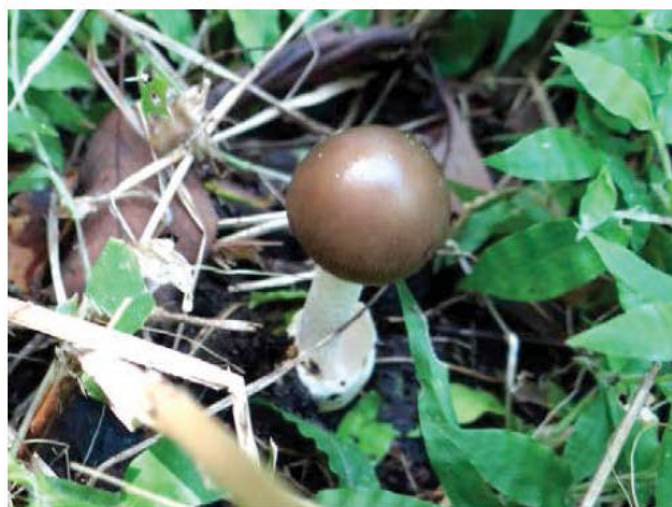


講師の糟谷(かすや)先生が解説

<午後：同定会>



21種類のキノコの名前(科・属まで)が判明



ツルタケ

最後に先生からまとめのお話。保護区にはどうやら、本来は紀伊半島や九州で見られるような暖かい地方に多いキノコがたくさんいるのが特徴のようです。千葉県の中でも、温かい気候であること、海岸沿いの植物相とのからみ、また、今後森林化が進んだときにキノコの相も変わってくるだろうということでした。

(キノコ班Nさんの報告より抜粋)

キノコ調査員なかも募集中！

毎月第3木曜日(9月はお休み)に保護区内のキノコの調査を行っています。お気軽に観察舎までご連絡ください♪次回は10月19日(木) 午後1時～です。

○江戸前干潟研究学校

8月13日(日)、9月17日(日)

保護区の池や海岸に網を一昼夜設置して採集した水生生物を調べる調査イベントです

8月も百合ヶ浜の大網が大量でマハゼ総計は4000を超えました。マルタウグイも多く2300匹。9月は台風18号接近の雨天の中親子4組を含む14名が参加。長靴池で80センチの大ウナギが採集されました。研究用に東大へサンプル提供しています。旧淡水池はこの夏干上がりかけのため両月とも網は設置せず記録無しでした。(野長瀬 雅樹)



○フィールドミュージアム

7月22日(日)、8月6日(日)

保護区内の生き物を実際に観察しながらプロの先生と一緒に学んでいきます

7月は干潟生物調査。小島岬で20地点の底泥を採取し、種類と数を記録しました。8月は夏休み自由研究と題し干潟生物のワークシート(谷津干潟スタッフの馬渡さんに作成いただきました)作りとミニ貝殻標本箱作成。計43名と自由研究のネタに対するニーズを感じる参加者数でした。(野長瀬 雅樹)



今後予定

江戸前干潟研究学校：10月29日(日) ※11～3月はどちらもお休み

集合：行徳野鳥観察舎前 時間：10時～15時

雨天決行／当日受付／参加費無料／要昼食

詳細は友の会メールか下記連絡先にてご確認ください。

【行徳野鳥観察舎 047-397-9046】

イベント案内

●→雨天中止 ★→荒天中止 ☆→小雨決行

●ボランティアデー(毎月第4土曜)

スタッフと一緒に保護区の管理作業をしてみませんか？

10/27、11/24、12/22 13時～15時半 **祝日開催**

集合：行徳野鳥観察舎前

作業内容は未定。開催日の3日前～前日に下記連絡先(観察舎)にてご確認ください。お楽しみに！

〈前回〉



← 8/26 湊(みなと)池
棚田草抜き
(参加 14名)

9/23 湊池棚田稲刈り
(参加 15名)

10/21・22(土日) 東京湾大感謝祭

東京湾再生に向けて・・・！

東京湾官民連携フォーラム内東京湾の窓 PT
のメンバーとして出店協力します。

時間：10時～15時

場所：横浜赤レンガ倉庫広場

11/4・5(土日) JBF 2017

今年も出展します♪

ジャパンバードフェスティバル。
国内最大の鳥の祭典。

時間：9時半～16時(土)、15時(日)

場所：我孫子市手賀沼



定例観察会

●定例園内観察会(毎週日曜・祝日)

集 合：行徳野鳥観察舎前 13時半～15時半

★定例新浜探鳥会(毎月第2日曜日) 11月11日、12月9日

集 合：行徳駅前の広場(改札出て左) 10時～ 持ち物：昼食、飲み物、帽子

参加費：200円(18歳未満は無料) 「放水路経由コース」は+バス代400円(子供200円)

・「新浜保護区コース」保護区内→観察舎前／解散 13時半

・「放水路経由コース」バスで江戸川放水路まで→保護区内→観察舎前／解散 15時半

◎主催：行徳野鳥観察舎友の会、日本野鳥の会東京、千葉県野鳥の会

☆夕暮れ観察会(毎月第4土曜日) 10月28日、11月25日

集 合：行徳野鳥観察舎前 16時～18時 **※集合時間が30分早くなります。**

●平日観察会(第1木曜日 ※祝日の場合は翌週) 11月2日、12月7日

集 合：行徳野鳥観察舎前 10時～12時

●ミニガイド(毎週土曜日(第4土曜・祝日・イベントがある日はお休み))

集 合：行徳野鳥観察舎 13時半～14時

【行事に関する問い合わせ：行徳野鳥観察舎(047-397-9046)】

すずがも通信 No. 226(隔月発行)

2017年10月8日発行

発行所

認定特定非営利活動法人行徳野鳥観察舎友の会

[千葉県行徳野鳥観察舎 〒272-0137 市川市福栄4-22-11 Tel.047-397-9046]

E-mail tomonokai_suzugamo@ybb.ne.jp

URL <http://gyotokubird.wixsite.com/npofgbo>

年会費

- ・賛助 3000円以上
- ・普通 2000円
- ・電子 1000円
- ・ジュニア(18歳以下) 500円
- ・法人、団体 10000円以上

編集 鈴木陽子 印刷 株式会社プリントパック



Instagram



Twitter